



西尾寿博議員

問 大山の具体的な施策と構想は

答 大山振興室を立ち上げて対応する

問 (1) 近隣の三朝町の三徳山も頑張っているが、本町の「大山」、

も歴史、文化、観光的にも世界遺産に匹敵するような財産だと信じている。

観光の中核である大山寺は近年スキー客の減少など、泊り客に至っては半減あるいは3

分の1と、本当に待たなしの状態にある。

町づくりの大きな柱である「大山」について具体的な施策、構想を聞きたい。

(2) 水の源である大山のふもとの江府町に、飲料水のブランドであるサントリーが進出、年間200億円の売上

と、数百人の雇用を生み出すと報道があった。本町の水資源の有効利用あるいは、企業誘致などは、どの様に考えているか。

答 (山口町長)

(1) 大山ブランド確立のため、あるいはそういった計画を立てるために「大山振興室」を、7月1日に立ち上げる。

観光と産業の連携、地産地消の推進による付加価値の向上、特産品の販路拡大、多くの優れた文化歴史遺産との連携を強化し、観光産業に従事されている皆さんと知恵を出し合い観光客のニーズに

応えられるようにしていかなければならない。(2) 何故、大山町ではないのかという思いを

私も持っている。大山の生み出す資源は大変有益でこれを生かしていかねばならないと思っている。全国発信できるような企業に

来ていただければたいへんありがたい。町民の皆さんの大山に対する強い想い、町全体が潤っていく、そういう仕掛け、計画、方向性を見出していかねばならない。

問 メディアの活用方策は

答 積極的に大山町を発信していく

問 全国にローコストでハイアピールをするにはメディアの利用、

答 (山口町長)

そして連携などが不可欠であると考える。本町も様々なイベント、催し物、式典、スポーツ大会等々、官民一体となり精力的に活動している。そしてこの活動報告をしっかりと情報発信することが肝心かと思う。そこで専任の発信者をと、考えるがどう思われるか。

広報誌や、ホームページ、県への定例報告のほか、直接、報道機関への情報提供を行うなどの方法もとっている。所管する企画についての発信は、所管する各部署で職員も含め切磋琢磨しながらそれぞれ、積極的に大山町を発信していく。



大山の恵み。きのえ川溪流まつり

農業委員に女性を推薦

議会推薦の農業委員に2名の女性委員を推薦しました。女性の視点で活躍してください。



山根令子さん (上野)



梶村福恵さん (渡道)